

みかんのみかん

+

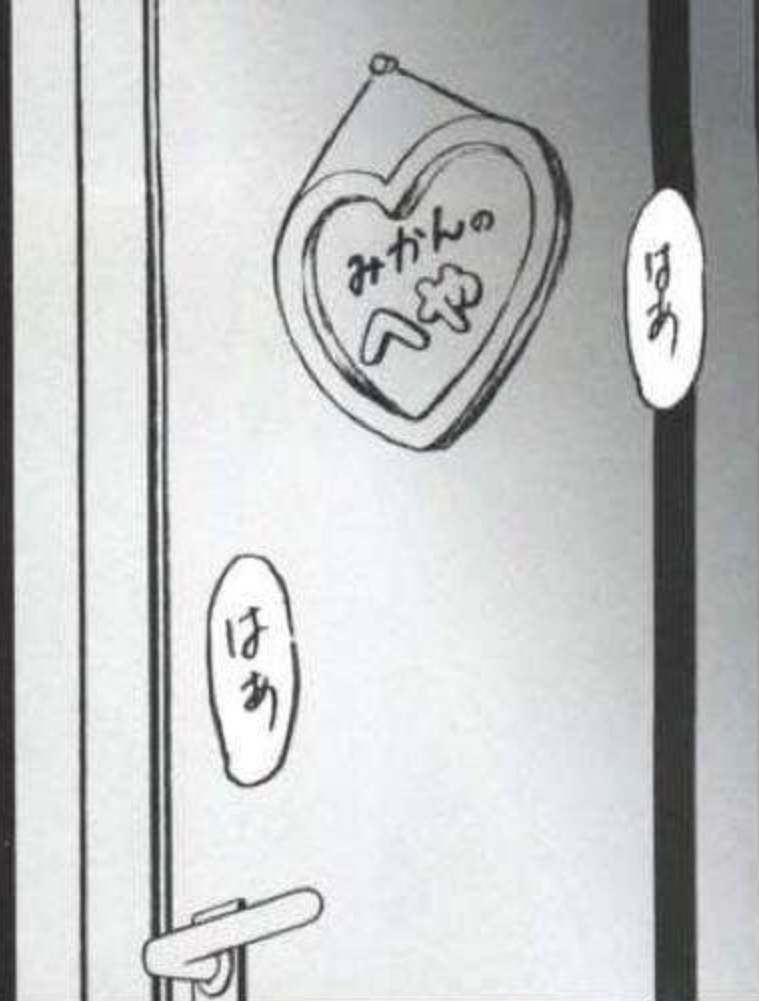
ID

PLUS DATA

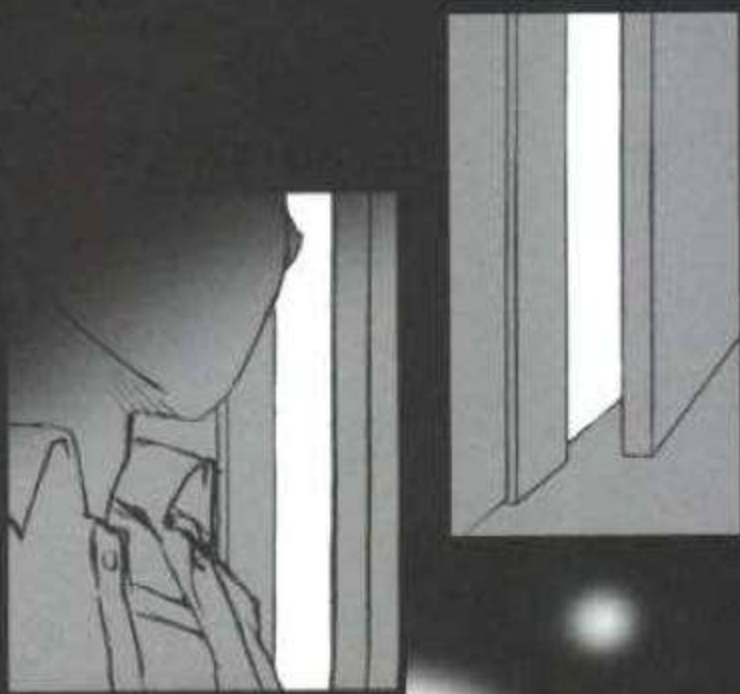


FOR ADULT ONLY





あ……  
あ……つい



体が…  
熱いつ

はあ





ほあ

ほあ

ほあ

ほあ

何…この感じ  
体が…うずく

私…どうし  
ちやっただらろ？

ストー！

ほあ

くじゅん

くじゅん

ビクッ

ほあ

あつ♡





…でも  
気持ちいい

ダメっ、こんなコト  
いけない

あっ♡

あんっ

ち…乳首  
硬く  
なってる



ここ…いいっ  
クリクリすると  
すごく感じちゃう

あひっ♡

あっ♡

あっ あんっ…  
や…やらしい  
私のオマンコ  
こんなに濡れてる

指もつと奥に入っ…  
んはあっ あっあっ  
私…どんどん  
やらしくなっちゃうう



あつ：リト

…リトお♡

私。何  
言ってるの  
これじゃまるで  
私がリトのこと……

イヤッ

そこ……お尻の  
あつあつ  
リトお♡

あつあつ  
リト見ちゃ  
ダメエツ

オマンコ  
イクとこ  
見ないでえつ

30  
Vanilla













痛っ

ズグ

ヒートさやい

ひっ

ピグ

そんなの無理っ  
入らな…

ひびひび  
ささ

あひっ

いやあつ  
抜いてえ  
お願い  
壊れちゃうっ

ズグ

ズグ

私のオマンコ  
壊れちゃうっ



あつ んはあつ  
リトの・・・奥まで：  
あんっ ああつ♡

いやあつ

美柑の  
ロリマンコ  
めくれちゃうう

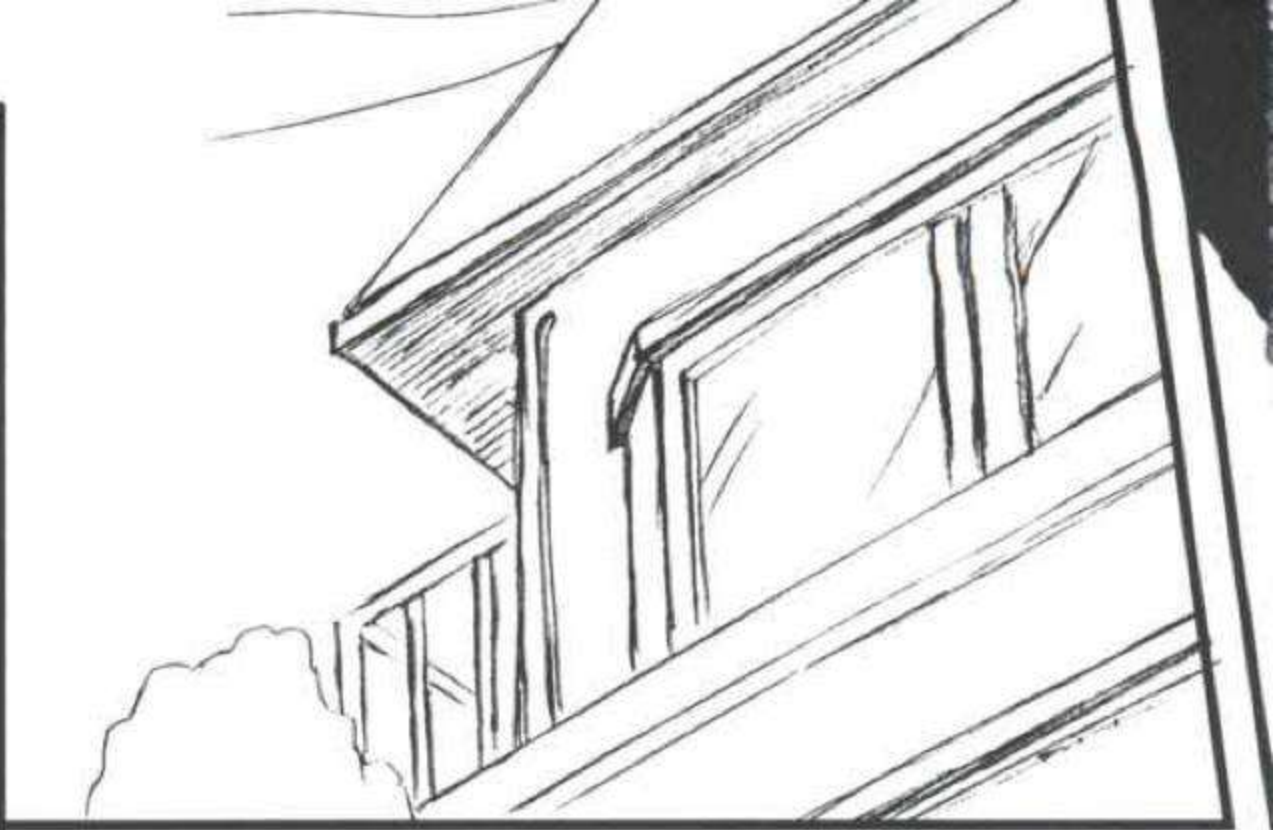


あつ あんっ

あひいっ♡



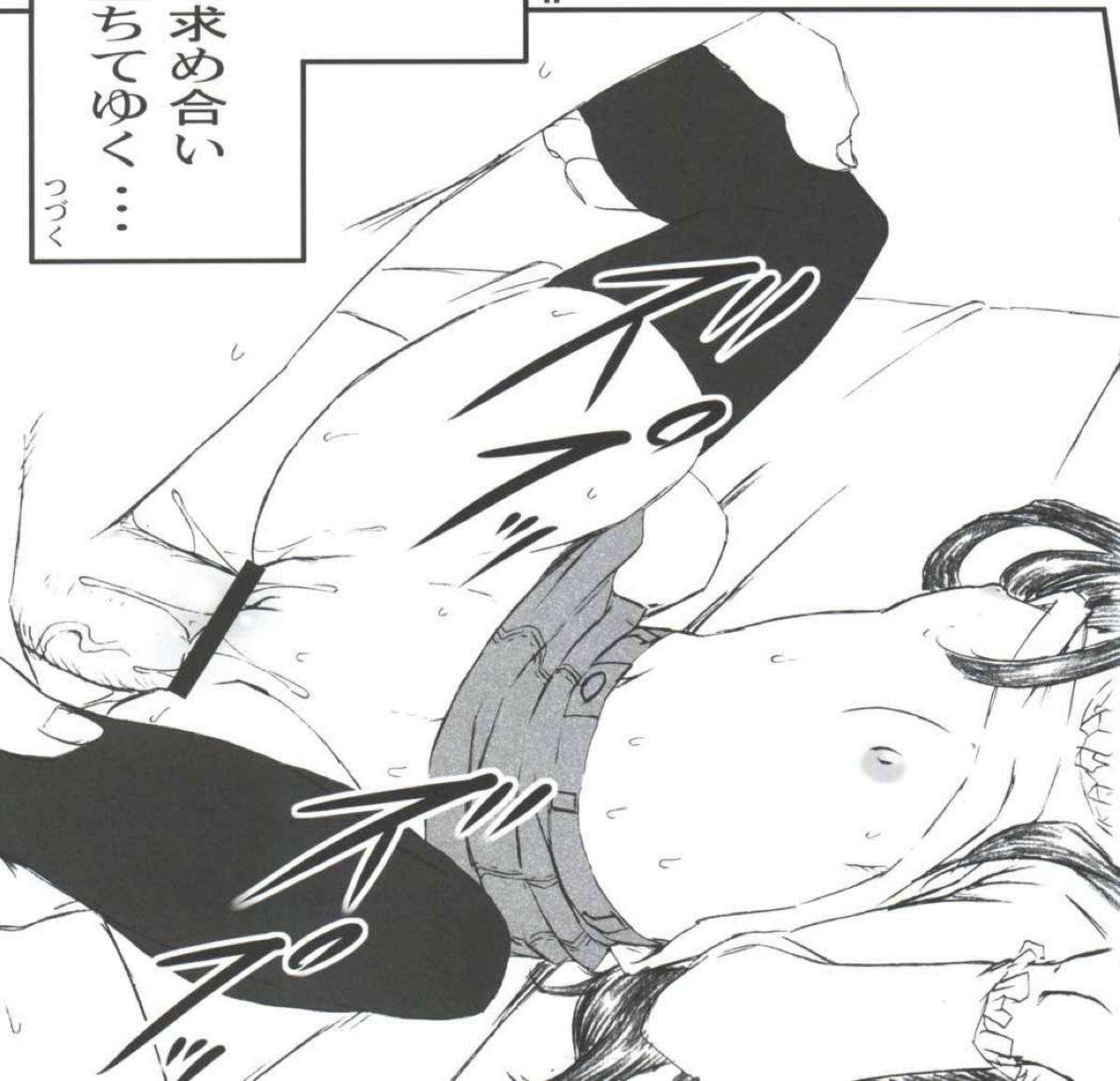




そして  
リトと美柑は

お互いを求め合い  
さらに堕ちてゆく…

くっく





●コミスタの2値化に慣れないので  
SAIとPS7.0で作業してみたい。  
しかも300dpiで！！の巻

DATA①

■P12: 本文 (300dpi)

- ・線画: SAIの鉛筆ツール描き。  
(デフォルトの鉛筆の筆圧100を0に設定)  
(線画: size:3~5 手ブレ補正:3)  
(髪線: size:3 手ブレ補正:5~7)
- ・髪ベタ: SAIのコピック風ブラシ塗り。  
(pixiv公開先のSAIのブラシ設定10個の一つ)
- ・擬態語: 「ドキ」をSAIで描く。加工は⑥を選択。  
(水彩筆の設定を色延びは31、  
混色・水分量・ぼかし筆圧はすべて0。)
- ・仕上げ: PHOTO SHOP 7.0で  
RGB→グレースケール変換。  
解像度は300dpiのまま。  
トーン(塗り)等の加工。

●コメント: その1

今回、ペイントツールSAIを  
初めて使う事もありまして  
この場を借りてあれこれとデータを取  
ることをご了承ください。  
SAIの描き味は如何ほどか…  
んwvv、やっぱり描きやすい!  
ブラシ設定も  
まだ未熟な中  
この馴染み  
具合は…  
涙目!!





●コミスタの2値化に慣れないので  
SAIとPS7.0で作業してみたい。  
しかも300dpiで！！の巻

DATA②

■P13: 本文 (300dpi)

- ・線画: DATA①と同様
- ・髪ベタ: SAIで「ドキ」を描いた時と同じブラシ。  
(水彩筆の設定を色延びは31、  
混色・水分量・ぼかし筆圧はすべて0。)
- ・擬態語: DATA①と同様。加工は下記⑤文字を使用。
- ・仕上げ: PHOTO SHOP 7.0でRGB→グレースケール変換。  
解像度は300dpiのままトーン(塗り)等の加工。  
線画をアンシャープマスク加工。  
(量:100% 半径:5.0pixel しきい値:0レベル)

ドキ♡

ドキ♡

■白抜き文字の加工比較



- ①SAI  
で描いた基本線。
- ②PS7.0で選択範囲して  
境界線を外側5pxで  
フチ取り。
- ③基本線に  
アンシャープマスクを  
1回後、②と同様にフチ取り。
- ④基本線に  
アンシャープマスクを  
2回後、②と同様にフチ取り。
- ⑤基本線にアンシャープマスクを  
1回後、2値化変換して  
②と同様にフチ取り。
- ⑥「ドキ」のレイヤーを別で開き  
300から600へ解像度を変換。  
アンシャープマスクを1回後  
2値化変換して②と同様にフチ取り。  
(倍の解像度なので10pxで)  
レイヤーをここに移動して50%縮小

見て……こんなに  
濡れてる……

※今まで①のただの筆書き文字ばかりで  
実は慣れてたフチ取り文字に挑戦！！  
(H系はこれ使ってる同人誌多い気がする)  
②～④はボケが目立つが…どうかな？  
⑤の2値化は300dpiでは厳しいか？  
おおっ！⑥が本命。ちょい  
めんどそう？  
いやすぐ  
慣れた～





●コミスタの2値化に慣れないので  
SAIとPS7.0で作業してみたい。  
しかも300dpiで！！の巻

DATA③

■P14：本文 (300dpi)

- ・線画：DATA①をPHOTO SHOP 7.0でアンシャープマスク加工後誤差拡散法(ディザ)で2値化。
- ・髪ベタ：SAIの鉛筆風ブラシ設定で描く(pixiv公開先のSAIのブラシ設定10個の一つ)(髪ベタ：size:8~16 手ブレ補正:3)
- ・トーン化：DATA①のPS7.0でグレー塗りしたレイヤーを統合して2値化。(出力：300/ハーフトーンスクリーン/線数：60/角度：45/網点形状：円)('ドキ'のレイヤーだけ単体で線数40で変換)

●コメント：その2

見渡せば私の周囲は皆、コミスタへ移行してまして、「じゃあ私も！」と思いきや…あれ？全く慣れない！何度も何度もチャレンジするもその度に挫折の繰り返し！！思う様に線が描けないw。これがコミスタ拒絶の最大の理由です。これ誰の絵ってぐらいの違和感！なぜ皆はすんなりコミスタに慣れたのか不思議で…そしてうらやましいw。

ドキッ♡

ドキッ♡

見て…こんなに  
濡れてる…

ドキッ

ドキッ





●コミスタの2値化に慣れないので  
SAIとPS7.0で作業してみたい。  
しかも300dpiで！！の巻

※この頁は  
600dpiです。

DATA④

■P15：本文 (SAI：300dpi → PS7.0：600dpi)

- ・全レイヤー：DATA①をPHOTO SHOP 7.0で解像度を300dpiから600dpiに変換。
- ・線画：DATA①をPS7.0でアンシャープマスク加工後誤差拡散法(ディザ)で2値化。  
(髪ベタはコピック風塗りを選択)
- ・擬態語：「ドキ」の線画をアンシャープマスク加工後2値化して選択範囲で境界線の外側10pxフチ取り。
- ・トーン化：DATA①の600dpiのグレー塗りレイヤーを統合して2階調化。  
(出力：600/ハーフトーンスクリーン/線数：60/角度：45/網点形状：円)  
(「ドキ」だけ単体で線数：40で変換)

●コメント：その3

この頁は600dpiです。300dpiで原稿作業を進め、完成してから線画・トーンを600dpiに変換する荒技です。意味無いかも知れませんが…。このコンセプトは「肉眼は何処まで気にするのか!」です。ほとんどの人がデータ原稿を600dpiで作成してます。ハッキリ言って推奨されてます。何なら私もそう思います。が、私はこれまで600dpiで作業した事がほとんどありません。基本、表紙350dpiで本文300dpiです。アナログ原稿からデジタル原稿への最大のネックは原稿を拡大して作業できることです。一見メリットの様に思えますがここに罠があると私は思います(大げさ)。その結果どうでもいい細かい部分まで手入れをしてくるようになってしまいます。アナログ原稿を虫眼鏡で覗いて作業するようなものです。で、思うのです。「そんな細かいトコ気にするかっての!」って。印刷された本の線をそんなに凝視しないですよね。てな訳でDATA①~④の印刷具合を見比べて今後のデジタル原稿作業に活かしたいと思います。あとDATA④で最後に600dpiにするメリットはトーンのもアレ対策になる事です。やはり300dpiでのグレー塗りのトーン化には解像度が低いのは確かです。ま、美味しいトコ取りな案です。

下のグレデに違い出るかな〜?





■P16: 本文 (SAI: 300dpi → PS7.0: 600dpi)

- ・全レイヤー: DATA①をPHOTO SHOP 7.0で解像度を300dpiから600dpiに変換。(この髪ベタはコピック風塗りを表示。)
- ・擬態語: 「ドキ」のレイヤーを別で開き線画をアンシャープマスク加工後、2値化変換。選択範囲で境界線の外側10pxフチ取りしてそのレイヤーをここへ移す。(DATA④と同じもの)

アナログ頁のデータ①

■P01: 表紙 (350dpi)

■P03-P11: 本文 (300dpi)

- ・線画: アナログ鉛筆描き。スキャナー取り込み。(300dpi) PHOTO SHOP 7.0のフィルタのアンシャープマスク加工。(PS7.0のアンシャープマスク加工と同様)  
(量: 100% 半径: 5.0pixel しきい値: 0レベル)

- ・仕上げ: PHOTO SHOP 7.0で写植・トーン(塗り)等の加工。

- ・追加事項1: P12の1コマ目だけ600dpiで再スキャン。レイヤーを58.3%縮小して300dpiと画像比率を合わせる。
- ・追加事項2: P12の擬態語を白抜き文字に加工。  
左: アナログ2値化文字  
中: アナログ文字  
右: SAI文字 (水彩筆の設定を色延びは31、混色・水分量・ぼかし筆圧はすべて0。)
- ・追加事項3: P13の擬態語をSAIで描く。(上記と同設定ブラシ)





●コミスタの2値化に慣れないので  
SAIとPS7.0で作業してみたい。  
しかも300dpiで！！の巻

※この頁は  
600dpiです。

DATA⑥

■P17: 本文 (SAI: 300dpi → PS7.0: 600dpi)

- ・全レイヤー: DATA①をPHOTO SHOP 7.0で  
解像度を300dpiから600dpiに変換。
- ・線画: DATA⑤をアンシャープマスク加工。
- ・髪ベタ: DATA⑤のコピック風塗りをアンシャープマスク加工。
- ・擬態語: 「ドキ」のレイヤーを別で開き  
解像度600dpi → 1200dpiへ変換。  
アンシャープマスク加工後2値化変換。  
選択範囲で境界線の外側20pxフチ取りして  
そのレイヤーをここへ移し50%縮小。
- ・トーン化: DATA⑤の600dpiのグレー塗り  
レイヤーを統合して2階調化。  
(出力: 600 / ハーフトーンスクリーン /  
線数: 60 / 角度: 45 / 網点形状: 円)  
(DATA④と同じもの)

※この度、再版の機会を設けましたので  
今回DATA⑤と⑥をさらに追加しました。  
データ収集の為、何卒ご了承願います。

— アナログ頁のデータ② —

■P20: 裏表紙 (350dpi)

- ・全レイヤー: 線画・色彩部分、  
すべてを統合して2階調化。  
(出力: 350 / ハーフトーンスクリーン /  
線数: 60 / 角度: 45 / 網点形状: 円)







■P18：本文 (300dpi)

- ・雨：SAIで描いた下の点々をSAIの選択範囲で拡大変形。
- ・擬音語：「ザァ」をSAIの筆の【通常の円形】を【平筆】設定で描く。
- ・仕上げ：PHOTO SHOP 7.0でRGB→グレースケール変換。

※追加事項→(解像度を300dpi→600dpiに変換。線画・髪ベタをアンシャープマスク変換。グレー塗りをトーン化。)

●おくづけ●

誌名：みかんのみかん +D (PLUS DATA)

発行日：2013年 2月 22日

発行所：ラビットカンパニー

発行者：虎兎木 蘭浦

表紙印刷：BRO's

本文印刷：BRO's

ホームページ：http://kotogi.com

Eメール：mail@kotogi.com

※本誌の無断転載及び複写を禁じます！！

■P18：本文 (300dpi)

- ・線画/髪ベタ：SAIの鉛筆ツール描き。(pixiv公開先の鉛筆風ブラシを設定)(線画：size:3 手ブレ補正:3) (髪ベタ：size:8~16 手ブレ補正:3)
- ・グレー影塗り：SAIの筆(毛先1と4)：SAIのエアブラシ併用。(レイヤー不透明度20%表示)
- ・仕上げ：PHOTO SHOP 7.0でRGB→グレースケール変換。

※追加事項→(解像度を300dpi→600dpiに変換。)





PRESENTED  
BY  
ラビットカンパニー